

カルタヘナ法制定までの経緯

1973年 遺伝子組換えに初めて成功

1975年 アシロマ会議：
…科学者による遺伝子組換え実験の規制に関する議論

1976年 米国NIH(国立衛生研究所):組換えDNA実験ガイドライン

1979年 文部省・科学技術庁:組換えDNA実験指針

1986年 OECD:組換えDNAの安全性に関する考察
(施設内での産業利用に関する勧告)

1986年 通産省:組換えDNA技術工業化指針
厚生省:組換えDNA技術応用医薬品製造指針

1989年 農水省:農林水産分野等における
組換え体利用指針

1992年 生物多様性条約採択

2000年 生物多様性条約
バイオセーフティに関するカルタヘナ議定書採択

2003年 遺伝子組換え生物等の使用等の規制による
生物の多様性の確保に関する法律(カルタヘナ法)制定